

メディア・リテラシー

今、子どもたちの間では携帯電話とインターネットが急速に普及、利用されています。子どもたちが携帯やネットを用いることで、さまざまな問題が発生しています。私達大人も被害者となるものを含めると、個人情報の流出、性犯罪被害、著作権の侵害、不正請求、フィッシング詐欺、オンラインゲーム中毒、ネット心中など、とりわけ子供たちが巻き込まれている問題で気になるのは、「学校裏サイト」や「プロフ」などで起こるいじめ問題等が挙げられます。

我孫子市教育委員会、少年センターでは、昨年11月、市内小中学生約2千人を対象に携帯電話に関する調査を行いました。それによると小学生5・6年生全体では約3割の子どもたちが、中学生になると6割を超えた携帯の所持率となっています。中学生ではチェーンメールや中傷メール(悪口や傷つける言葉)を受け取った子どもは約7割を超えていると回答されています。まさに情報化社会の中でメディア・リテラシー教育について徹底することが急務になっています。

今年、2月9日に開催された日本PTA全国協議会、東京ブロック大会の中で「ネットが変える社会と心」という講演会、シンポジウムが行われました。その中のインターネット協会の久保氏がネット上で起こったさまざまな問題事例を紹介しながら、子供に覚えてほしいたった一つの知識として「ネットは、匿名でも誰が発信したのかは特定できる」ことを、声を大にあげていたことが印象深く残っています。子供たちはもちろんのこと私達、親も先生も大人が、この情報リテラシー問題を緊急に勉強し対策を講じていく必要があると思っています。

※ リテラシー(読み書きの能力)とは、「私たちが社会生活を行っていく上で、媒体を問わずあらゆる情報に対する(1)情報ニーズを認識する能力(2)情報を発見・獲得する能力(3)情報及び情報探索過程を評価する能力(4)情報管理能力(5)情報に基づいて新たな理解を生み出す能力(6)情報の背後にある問題を認識する能力」のことである。



現場主義

ほっと Communication

印南 宏後援会 会報
2008. 3. 27 No.38

八方ふさがりの政治状況！

季節は春、出会いと別れの季節。皆さん、如何お過ごしでしょうか！それにしても政治の世界は憂鬱な出来事が山積しています。一つは宙に浮いたままの年金問題。最後の一人、最後の一円まで誰のものか、明らかにすると断言していた前首相。未だ年金記録、約2000万件以上が未解明データとなっています。二つは揮発油税、暫定税率維持を盛り込んだ税制案審議が難航、道路特定財源の問題では、道路を良くするために使われるはずの税金が職場旅行やマッサージチェア、タクシー代に化けています。三つは石油高騰に円高、株安の連鎖など、世界経済に暗雲がかかっている中で、金融政策を担う責任者である、日銀総裁の人事が決まらない我が国。その他、イージス艦衝突事故も真相がうやむやになっていきます。福田政権はまさに八方ふさがりの状況に追い込まれています。4月以降、衆議院解散・総選挙など何が起ころうとも不思議ではありません。そんな中、我孫子市議会では、次のようなことが審議されました。



平成20年3月定例会市議会 新年度予算が決定！

- 会期** : 3月3日(月)～3月25日(火) 会期23日間
一般質問は3月10日～12日18名の議員が登壇・質問しました。印南 宏も「あびこ21」会派を代表し、登壇、大綱5点について質問と提言を行いました。
- 議案** : 新年度一般会計予算313億1千万円(対前年比-0.5%)をはじめ33議案を審査しました。
主な議案として、市職員の勤務時間を改正する条例、つくし野多目的広場の設置及び管理に関する条例、4月から始まる後期高齢者(75歳以上)医療に関する条例の制定、成田線整備基金や庁舎増築基金の改正条例など、全ての議案を可決・閉会しました。
- 請願・陳情** : 栄緑池一帯のマンション建築計画の全面見直しを求める陳情、つくし野5丁目5番地水害対策に関する請願を可決しました。
- 予算審査** : 20年度予算を審査した予算審査特別委員会では、平成18年度末、經常収支比率が96.3%と他市と比較して、著しく硬直化している我孫子市の財政状況を鑑み、歳入の増、税収増への取り組みについて多くの意見が出されました。
また、歳出面では全体予算の1/3以上を占める民生費(福祉、子育て支援費等)のあり方や工業系土地利用調査の遅れ・基本計画作成業務、地産地消推進事業の農産物直売所整備設計予算など、厳しい予算の中で税金の無駄にならないよう危惧する意見等が多く出されました。

『住んでよかった』そして『住んでみたい』と言われる街に

◆印西市文化ホールで第7回のコンサートを開きます！◆
名手、小林道夫がベーゼンドルファーを弾く！！

室内合奏団クレメンティア演奏会

日時:2008年5月18日(日)14:00時開演(13:30開場)

場所:印西市文化ホール(印西市大森2535 電話0476-42-8811)

※詳細はHP <http://www.ensemble-clementia.com/>



宏と語る小さな小さな
ティーパーティー開催中！
お気軽にお電話下さい。

いんなみ ひろし
印南 宏
後援会事務局 7184-2860
自 宅 7189-1598
我孫子市布佐平和台7-1-18

行政相談もこちらへ！

ご意見をお待ちしています。

ブログ <http://hiroshi4649.at.webry.info/>
E-mail innami@mqd.biglobe.ne.jp

♪♪♪ 印南 宏 あびこ21会派 代表質問骨子 ♪♪♪

1. 首長のリーダーシップと基本姿勢
 - (1) 就任一年の自己評価
 - (2) 最重点施策の目標
 - (3) 第二次基本計画と財政目標
2. 環境にやさしい行政
 - (1) 手賀沼沿い公衆浴場施設と手賀沼の生態
 - (2) 一般廃棄物対策基本計画と生ごみの資源化
 - (3) 清掃行政の広域支援体制
 - (4) ごみ焼却施設の精密機能検査結果と今後
3. 教育行政 新学習指導要領
 - (1) いじめ対策委員会のその後
 - (2) 特別支援教育
 - ・こころの相談員
 - (3) 教育ボランティア
 - ・メディア・リテラシー対策
4. 安全・安心なまちづくり
 - (1) 消防団の充実
 - (2) 救急車の活用ルール
 - (3) 医療体制の一層の充実
5. 交通行政（鉄道関係）
 - (1) (仮称)成田ニュータウン北駅との乗り換え新駅の設置
 - (2) 常磐線の東京駅乗り入れ（東北縦貫線事業動向）
 - (3) 特別快速の我孫子駅停車実現



宏はこう考える！（地域経済活性化と※第二次基本計画）

新年度、市政方針の最重要課題は「地域経済の活性化」と位置づけられています。地域経済の活性化では農業、商業、工業を、今後、どう立て直していくのか、根幹的施策が大切となります。しかし一口に「活性化」といっても捉えどころがなく、どのような状態に、それぞれの産業を導くのか、首長はその方向性を明確に打ち出す必要があります。

例えば、工業を例にとっても、現在策定中の「工業系土地利用のあり方」は工業の活性化のための手段であり、工業系の土地利用ができる地域を見つければ工業が活性化するわけではありません。工業を活性化するには、具体的にどのような指標を持って臨むのか？我孫子市の現況把握と進むべき方向性、ここがぼやけていては従前のスローガン型の地域経済活性化と何ら変わりません。新年度から始まる第二次基本計画でしっかりと調整を図っていく必要があります。

我孫子市は最重点施策と掲げる工業・商業・農業において、それぞれ具体的な数値目標を再設定してまちづくりを明確に進めていかなければならない時期と考えています。

そのためには、どのような分野であっても実際に仕事をする職員が目標に向かって全力で執行できる組織が重要です。しかし地域経済活性化に向けての最前線である「商工観光課」は従前の組織のままとなっています。来年度以降、国・県や民間との連携も含め、組織の見直し、強化が必要だと考えます。地域経済活性化のための「市役所組織のあり方」はもちろん、行財政改革の「星野プラン」とでも言うべき改革案を大胆に提示し、様々な分野の改革に取り組む必要があると思っています。

現在の我孫子市が置かれている厳しい財政状況を市民の皆さんや市職員、市議会、それぞれ、危機感を共有しながら、新たな街づくりに邁進していきたいと思っています。

※ 第二次基本計画とは、我孫子市は平成14年度を初年度とし、平成33年度を目標年次とする基本構想を策定し、まちづくりを行っています。第二次基本計画は、この基本構想の第二期の基本計画として第一次基本計画（平成14年度～20年度）の成果や到達点を踏まえ、今後（平成20年度～27年度）8年間のまちづくりの方向性を示す計画です。

将来都市像：「手賀沼のほとり 心輝くまち」～人・鳥・文化のハーモニー～

手賀沼沿いの公衆浴場について



先日、全国公開されたドキュメンタリー映画「アース」を、見てまいりました。環境問題が深刻になってきている現代、この生き物が暮らす楽園「アース」がどれほどに美しいか、守っていかなければならない貴重なものなのかを、考える良い機会となりました。

この地球に住む生き物を守るために、「今、私たちができることは、きっとある」という結論で終わっている映画に深い感動を覚えました。

そんな中、昨年3月にオープンした市役所の向かい柏市側、手賀沼沿いの民間公衆浴場が、大変な盛況ぶりを見せています。私は、ここで危惧しているのは、排水問題等で手賀沼の生態系に何らかの影響が出てきてはいないのだろうか、と言う問題です。

我孫子市のシンボルである手賀沼は市民と行政の長年の努力によって、平成18年度、水質ワーストテンから外れることができました。残念ながら、まだ環境基準（COD 5 mg/L）は達成できずにいますが、かつての生態系を取り戻そうと鋭意努力が続けられています。

私は、この公衆浴場が出している温泉排水影響調査について資料要求を行い、千葉県と柏市が行った「排水水の管理観測」のデータを入手いたしました。公衆浴場施設では敷地内駐車場地下に浄化槽が設置され、施設東側水路を経て、手賀沼に放流されています。千葉県水質保全課と柏市環境保全課では現状では手賀沼への影響はないと結論を付けていますが、本当に影響はないのだろうかという疑問が残ります。県が行った排水温調査、電気伝導調査、柏市が行った水質汚濁法による立ち入り検査、特に、千葉県の調査はオープン前と営業中の一度検査したのみとなっています。

千葉県の報告書にある「温泉水の影響は排水路内で明瞭に見られたが、沼内流出後は出口でわずかな変化が見られたのみで、温泉排水は速やかに希釈、拡散されていることが示唆された。」とあります。「浄化槽を経由したはずの排水が排水路内では明瞭に影響があり、手賀沼流出口でも変化が見られ、沼内で希釈、拡散しているので問題なし」という結論で果たして良いのだろうか、温泉水の塩分の影響はないのだろうか、私には疑問が残る報告書でした。

我孫子市は千葉県や柏市に対して、継続的、且つ詳細な調査を求めていく必要があると思っています。私は少なくとも春季の調査だけではなく、手賀沼の水質が最も厳しい夏季の調査も実施すべきであると思います。現在、手賀沼に負荷を与え続けている大津川、大堀川の排水、手賀沼に面していない松戸市、流山市、鎌ヶ谷市の皆さん、そして、柏市は沼南町と合併し、さらに手賀沼と身近になった自治体として手賀沼をもっと意識してもらいたいと思っています。

今後も手賀沼水質浄化について我孫子市や関係する自治体の、これまでの取り組みや現状の課題などを広域的に且、大胆に情報を発信していく必要があります。

♪ 是非、ご覧下さい！！ ♪

◆印南宏が代表を務める

「あびこ21」ホームページ

<http://abiko21.exblog.jp/>

◆我孫子市公式ホームページ

<http://www.city.abiko.chiba.jp/>